

夏休み野外学習会

～世界に誇れる「地下ダム」を見ませんか～に参加しました。

平成27年7月31日(金)に沖縄総合事務局土地改良総合事務所主催(協力:沖縄本島南部土地改良区)で行われた、小中学生向け夏休み野外学習会に、会員支援課の職員が参加しました。夏休み野外学習会は米須(こめす)地下ダム・慶座(ぎいざ)地下ダム・仲座ファームポンド・仲座加圧機場の施設見学を行うものです。

米須(こめす)地下ダム IN 糸満



地下ダムの役割、ダムの構造について学びました。子どもたちは写真を撮ったりメモをしたりと忙しそうに熱心に学んでいました。お母さん・お父さんも夢中になって話を聞き、質問する姿もみえました。地下ダムの大きさは25mプールで数えると何杯分なのかといった3択クイズもあり子供たちは積極的に回答し、子どもから大人まで地下ダムの魅力を十分に味わいながら楽しめる学習会となりました。

Q.米須地下ダムの大きさは25mプール何杯分？ A.約5000杯分

慶座(ぎいざ)地下ダム IN 八重瀬

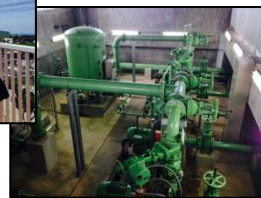


慶座(ぎいざ)地下ダムでは、地下ダムの特徴である施工方法について学び、越流しているところも見学できました。

また、慶座地下ダムには日本最大のテナガエビが住んでいました！子ども達は、藻に隠れているテナガエビを必死になって探し、見つけては歓声を上げていました。私も負けるのかと探しましたが発見できず…。しかし、早朝に職員さん達が捕まえたテナガエビを観察することができました。



仲座ファームポンド・仲座加圧機場



仲座ファームポンド・仲座加圧機場ではファームポンドの役割について学び、揚水機場の施設を見学しました。ファームポンドに上がり歩廊を1周したり、点検用ハッチから中の水の状態を見学するなど普段できない貴重な体験ができました。

地下ダムが造られる前はサトウキビが主に作られていましたが、地下ダムが造られてからはマンゴーやゴーヤーなど色々な野菜や果樹が作られるようになったことを知り、地下ダムの大切さ、凄さを感じ学ぶことができました。学習会を終え帰りのバスの中で男の子達が、地下ダムの仕組みについて熱弁していました。晴天にも恵まれ、とても充実した学習会となりました。関係団体の皆様、ありがとうございました。

～会員支援課 上江洲 文乃～